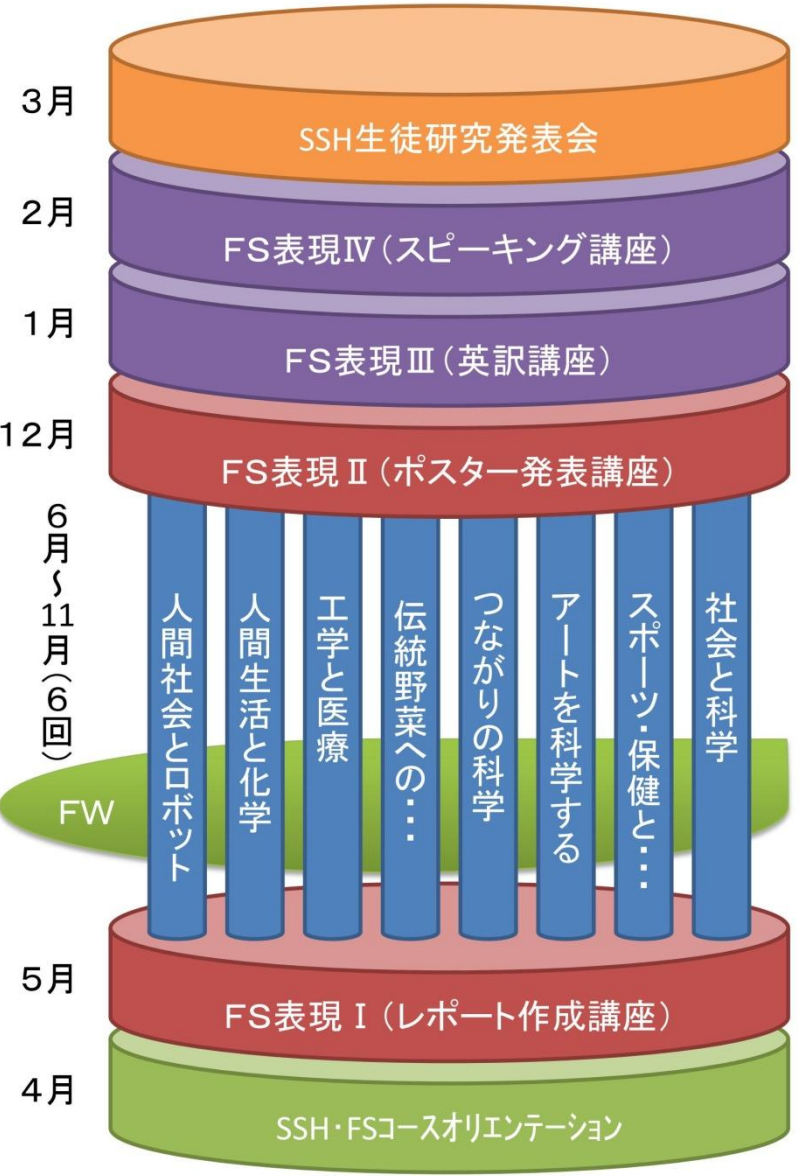


米沢興譲館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

本校の1年生は全員がSSH事業の主対象生徒である。その主な取り組みは左図のような異分野融合サイエンスで、生徒が興味・関心のあるコースを8つの中から選択し、通年で学んでいく。今年度は、その学びを英訳する試みも計画されている。今回は「人間生活と化学」を紹介する。



異分野融合サイエンス (FS) コース別講義・研修



身近なものにつながる化学
1年女子生徒 (米沢一中出身)

私は七月二十二日に山形大学で研修をしてきました。そこでは有機ELについて、講義を聞き、実験を行いました。

実験では、簡単な発光物質を作り出した。大学という本格的な設備で行う実験は、化学について興味のわくものばかりでした。本格的な設備として、発光物質がどの色を吸収しているか調べものや製品の試作品を作るための空気をとともきれいに保つ部屋(クリーンルーム)などを見学させていただきました。

有機ELは現在製品化に取り組んでいます。この高度な技術を私たちの日常に取り込むことで、もっと便利になると思います。今回のFSを通して、これまでの日常が科学と密接に結びつき、便利になってきたのだということ学びました。

FSの活動を通してさらに科学について学習し、将来に生かしていきたいと思う、真剣に取り組んでいきたいと思えます。

平成27年度 第1学年フィールドワーク (FW) 研修

FW研修を振り返って
1年男子生徒 (米沢一中出身)

FW研修を終えて改めて考えてみると、以前より山に対する興味が高まったような気がします。山には、日常生活では僕たちが目にしないような植物がたくさんあります。それは、平地と山では環境が異なるからだそうです。といっても、僕が感じたのは、気温が少し低く、所々に霧がある、というくらいのものでした。人から見ると大して変化がないようですが、植物に対してはここまで変化があるのか、と驚きました。山に行くだけで植物の種類が変化するという事は、世界各地のいろいろな気候の場所に行けば、見ることのできる植物は数知れないと思います。環境は気候だけでなく動物も含まれます。そう考えてみると、まだ発見されていない植物もあるように思われます。FWを通して、植物について考えさせられました。とてもいい経験になったと思います。



035

山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

